

資料編

資料編

1 全国・兵庫県及び前回調査との比較

図表及び文章中において、下記名称で引用している調査データの概要は次のとおりである。

名 称	実施主体	調査実施概要
前回調査	加古川市人権・同和教育協議会	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象：満20歳以上の加古川市民3,000人 調査方法：郵送調査法 調査期間：平成18年(2006年)1月18日～2月20日 回収数(率)：1,031 (34.4%)
県調査	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象：満20歳以上の県民3,000人 調査方法：郵送調査法 調査期間：平成25年(2013年)10月18日～11月8日 回収数(率)：1,210 (40.3%)
全国(NHK)調査	NHK放送文化研究所	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象：全国の16歳以上の国民5,400人 調査方法：個人面接法 調査期間：平成25年(2013年)10月19日・20日 回収数(率)：3,070 (56.9%)

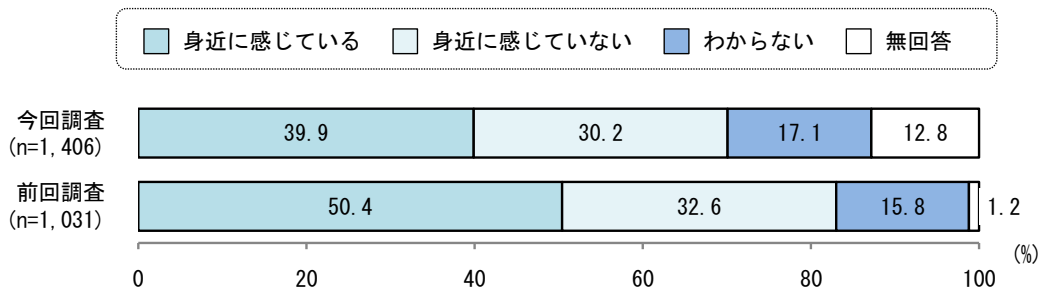
(1) 人権問題の身近さに対する意識について

問1 あなたは「人権」を身近な問題と感じていますか。(○は1つ)

【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

◇人権を身近な問題と感じている割合は、今回調査は39.9%で、前回調査の50.4%に比べ低い。

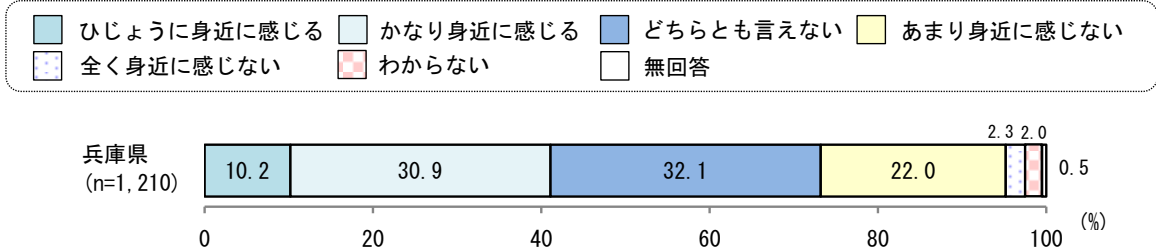
[人権問題の身近さに対する意識（前回調査との比較）]



【県調査（平成25年(2013年)実施）の結果】

◇『身近に感じている』割合（「ひじょうに身近に感じる」と「かなり身近に感じる」の計）は、兵庫県の調査では41.1%で、本市は県の傾向と変わらない。

[人権問題の身近さに対する意識（県調査の結果）]



(2) 人権侵害の認識状況について

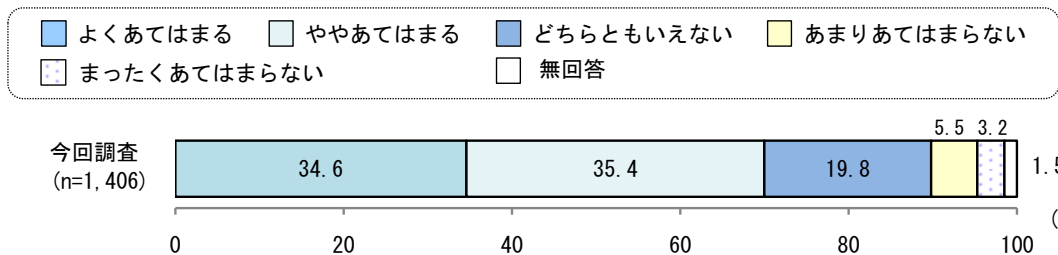
問2 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思えますか。
ア～スのそれぞれについて選んでください。（○はそれぞれ1つ）

【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

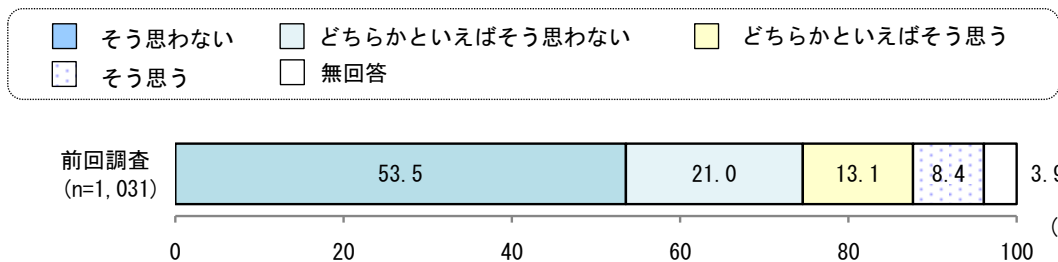
■賃金や昇進・昇給における男女間の差について

◇今回・前回調査とも、性別で区別することについては人権侵害にあたると思っている割合は高い。

[今回] 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給料や昇進で低い評価を受けること



[前回] 同年齢で同期に入社し、同じ仕事をしている男性と女性の間、賃金や昇給に差があってもよい



(3) 子どもの人権に関する意見に対する考えについて

問3 子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。ア～キのそれぞれについて選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

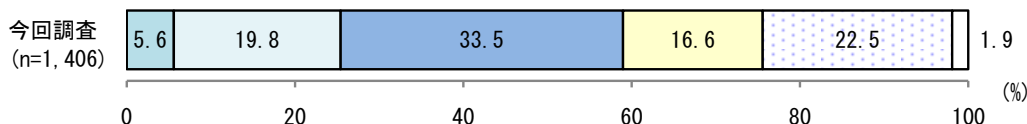
【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

■保護者による子どもへの体罰の是非について

◇保護者（親）がしつけと称して子どもに体罰を加える行為について同調する意見の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は、前回から低下している。

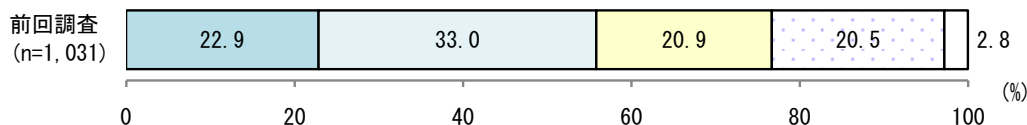
[今回] 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない

そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない どちらかといえばそう思わない
 そう思わない 無回答



[前回] 親は、しつけで子どもに体罰をすることがあってもかまわない

そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない
 そう思わない 無回答

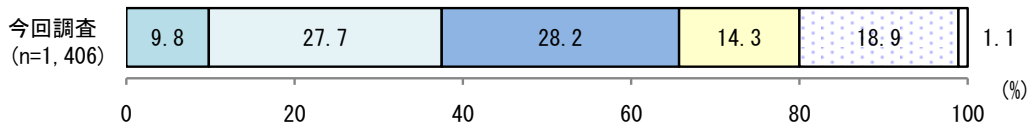


■教師による子どもへの体罰の是非について

◇教師による指導と称して子どもに体罰を加える行為について同調する意見の割合は、前回から低下している。

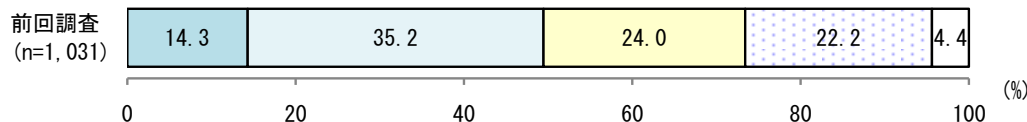
[今回] 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない どちらかといえばそう思わない
 そう思わない 無回答



[前回] 教師は、指導で子どもに体罰をすることがあってもかまわない

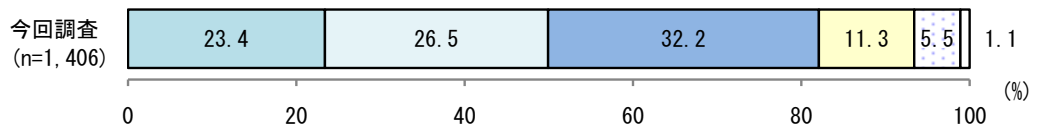
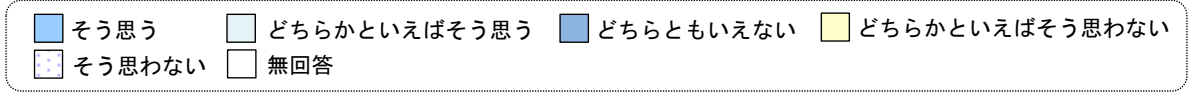
そう思う どちらかといえばそう思う どちらかといえばそう思わない
 そう思わない 無回答



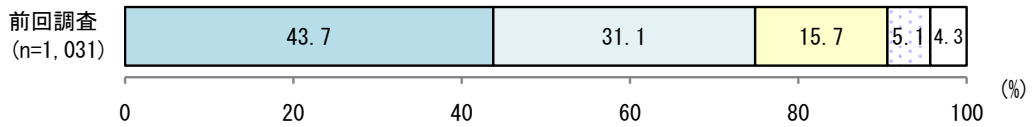
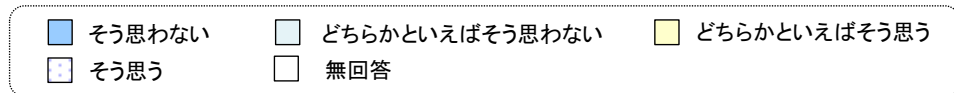
■保護者が子どもの手紙やメールなどを勝手に見ることについて

◇メール等を勝手にみることについて否認する割合は、前回比べ低くなっている一方で同調も否認もしない市民の割合が高くなっている。

[今回] 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ないほうがよい



[前回] 親が、子どもを心配して手紙やメールを勝手に見るのはかまわない



(4) 人権侵害の経験について

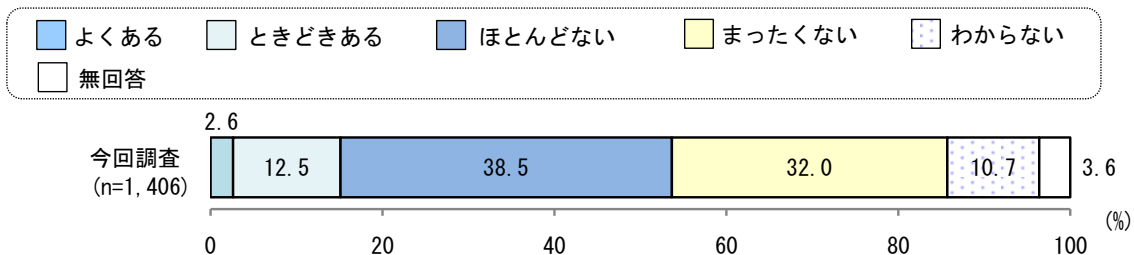
① ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験

問4 あなたは、ここ5年ぐらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

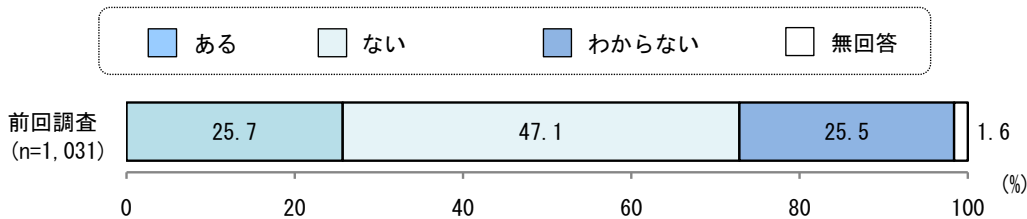
【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

◇今回調査は、「ここ5年ぐらいの間」に限定したことで“ある”の割合（「よくある」と「ときどきある」の計）が前回調査より低下している。

[今回] ここ5年間ぐらいに人権を侵害されたと思った経験



[前回] 人権が侵害されたと思ったことがあるか



(5) 家族に関わるいろいろな見方や考え方について

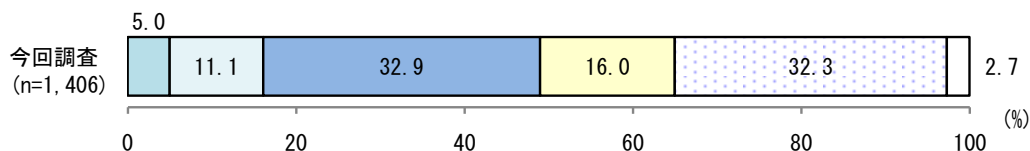
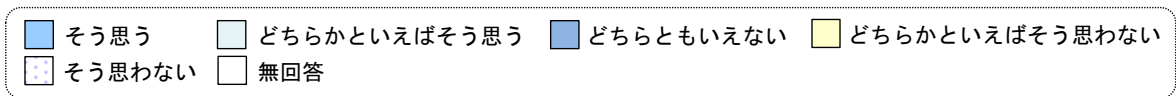
問5 次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。ア～シのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

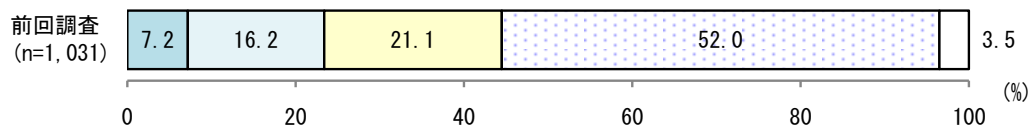
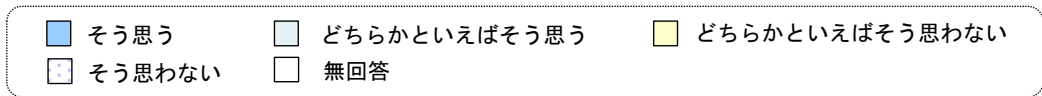
■ 固定的な性別役割分担について

◇今回調査、前回調査で質問の仕方が異なるが、今回調査・前回調査とも“女性（妻）は家庭”という考え方に同調する割合は少なく、否定的な意見をもつ市民のほうが多い。

[今回] 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



[前回] 男は仕事、女は家庭という役割分担をする方がよい



(6) 国民の権利として定められていると思うもの

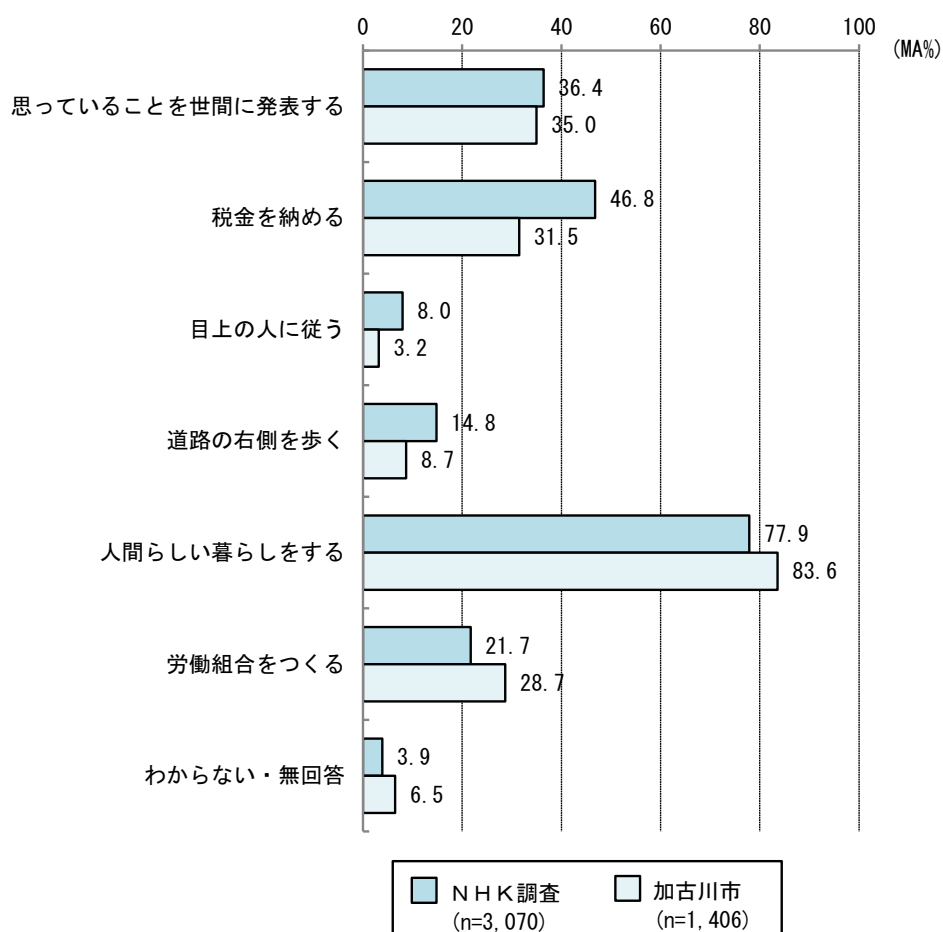
問6 あなたは、憲法により義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

【全国（NHK）調査（平成25年（2013年）実施）との比較】

◇「人間らしい暮らしをする」（77.9%）は、全国値（83.6%）に比べ5.7ポイント、「労働組合をつくる」（28.7%）は全国値（21.7%）より7.0ポイント、それぞれ高い。「思っていることを世間に発表する」は全国値36.4%に対し、本市は35.0%と大きな差はない。逆に「税金を納める」の割合（31.5%）は全国値（46.8%）より本市のほうが15.3ポイント低い。

これら以外の項目についても全国値に比べ本市の割合のほうが低く、権利と義務についての認識間違いをしている市民が一定数いるものの、正しい知識をもつ割合は全国に比べ本市のほうが上回っている。

【国民の権利として定められていると思うもの（全国（NHK）調査との比較）】



(7) 日本の社会での人権や同和問題に関する意見に対する考えについて

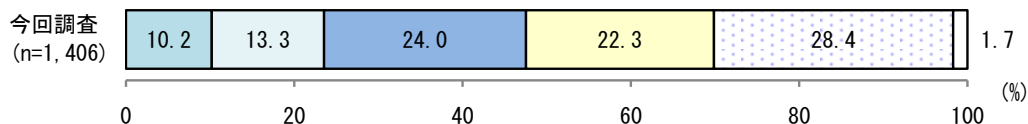
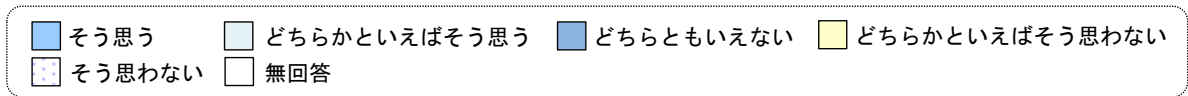
問11 日本の社会での人権や同和問題に関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。ア～エのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つ)

【前回調査（平成18年(2006年)実施）との比較】

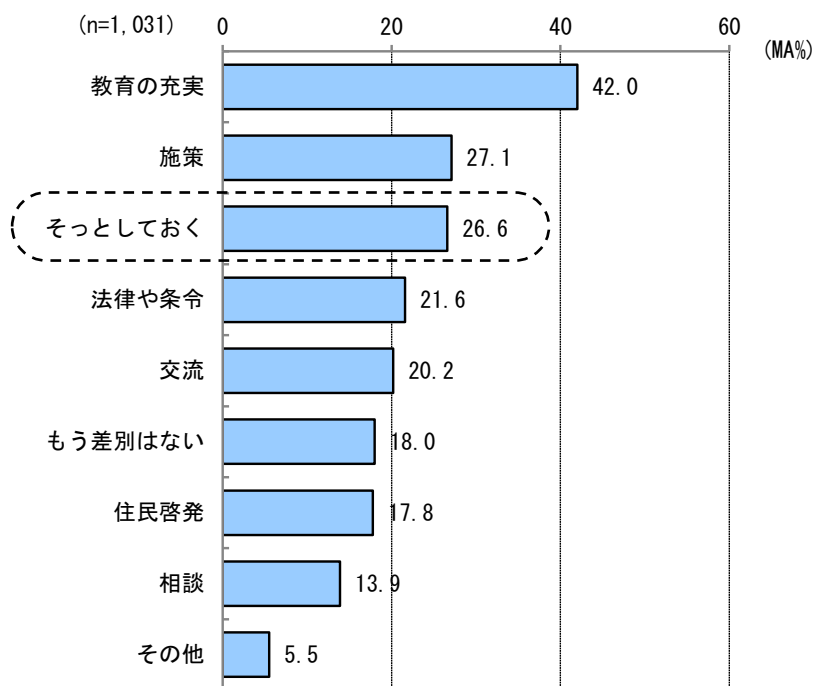
■同和問題に関する意見に対する考え

◇今回調査、前回調査で質問の仕方が異なるが、今回調査・前回調査とも“寝た子を起こすな”論をもつ市民が依然一定数いることがうかがえる結果となっている。

[今回] 同和問題は、そっとしておけば自然になくなる問題だ



[前回] 同和問題の解決のためには、どうしたらよいと思われますか。(○は3つまで)

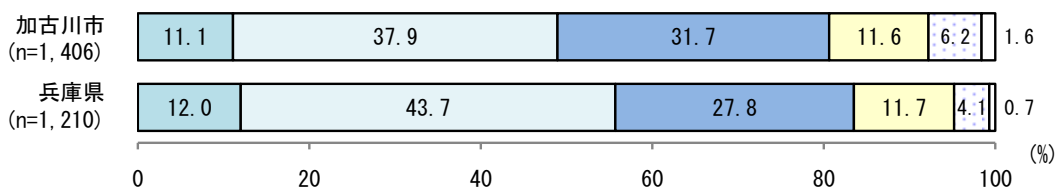
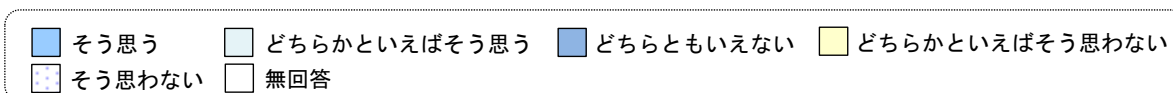


【県調査（平成25年（2013年）実施）との比較】

■人権尊重社会についての考え

◇人権が“尊重されていない”の割合（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計）は17.8%、「どちらともいえない」は31.7%で、兵庫県の割合に比べ本市のほうがそれぞれ高くなっている。

[今の日本は、人権が尊重されている社会である]



【県調査（平成25年（2013年）実施）との比較】

■国民（県民）一人ひとりの人権意識の向上についての考え

◇人権意識が5～6年前に比べ“高くなっていると思う”の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は、本市が40.1%に対し兵庫県が35.9%で本市のほうが4.2ポイント高い。

[国民（県民）一人ひとりの人権意識は5～6年前に比べて高くなっている]

